

■EU：欧州委員会、2008年の温室効果ガス削減の成果を発表

欧州委員会は、2009年8月31日、2008年のEU27カ国における温室効果ガス排出量は前年比で1.5%減少し、4年連続での削減に成功したと発表した。京都議定書の基準年（先進国の場合は1990年）と比較した場合には13.6%の減少となる。また、2004年のEU拡大以前の加盟国である15カ国で見ると、前年比で1.3%減、基準年比較で6.2%減となった。ディマス欧州委員（環境担当）は、景気低迷によるある程度の削減を認めつつも、京都議定書の目標達成に向けて着実に前進していることが証明されたと評価した。さらに、コペンハーゲンでのCOP15開催を2009年12月に控え、この削減実績が世界各国へ強いメッセージを発することになるだろうと述べた。